

# 京極家の大名庭園

## 民間の手による復元と、これから



下3枚：富士建設による購入後、修復中の写真。池の中には藻が繁茂し、石組は崩壊している。竹藪に占拠されてタケノコが生えている箇所も



中津万象園・丸亀美術館理事長 真鍋雅彦さん  
3代目丸亀城お笑い人力車芸人 大木亀丸さん

右は1974年、左が2021年、中津万象園付近の空撮写真。右は修復が直前でまだ荒れている様子が見とれる。現在、さぬき浜街道が一部園の敷地をかすめている。だが計画当初は庭園の真ん中を通る予定だったのを協議の上変更となった逸話も残されている。(写真提供 国土地理院)



中津万象園は、17世紀に丸亀藩二代目藩主・京極高豊侯が造り始めた大名庭園です。そして京極家の手を離れた明治・大正・昭和に複数の民間の所有者にわたり、万象園はお庭として、時には海水浴場として市民に親しまれてきました。

しかし戦後には、昭和南海地震による地盤沈下、度重なる台風高潮などを受け、お庭は次第に荒れてゆきました。

その現状を惜しんで修復・保存のため買い取ったのが民間の建設会社、富士建設でした。長期間、幾多の困難を経て大名庭園としての価値を復活させ、その後長年にわたり同社が民営で維持管理しつづけています。

そのいきさつや、今の様子について、丸亀城や中津万象園を活動の場としている丸亀の住みます芸人、大木亀丸さんが中津万象園・丸亀美術館の理事長、真鍋雅彦さんにお話をうかがいました。

僕は地元出身で、中津万象園にも何度も来ていますが、民間企業が復元して今も管理しているとは知りませんでした。

自治体のもので、運営も自治体と思われている方が本当にたくさんおられます。

でもなぜ富士建設さんが大名庭園を復活させることになったんですか？

購入したのは私の父、真鍋利光でした。「建築は文化なり」というのが父の口癖でした。郷里の文化芸術を知ってこれを守るといのは建築会社にとって大切な使命だと考えていたようです。

修復に着手したのが昭和45年、お庭を復元して一般公開までこぎつけたのが昭和57年でした。

12年も！お庭は相当に荒れていたということですか？

ええ、それはもう。なにせ園内の面積は一万五千坪あってそのすべてが荒れていました。水没していた池の縁の石を池から上げて組みなおしたり、庭園の石も二千ト入れて、雑木（ツゲ・ススキ他）は四千本補充しました。橋を架け、あずまやを復元し、園路を整備したり。あとは茶室

の萱を葺き直したり、壁も塗り替えました。

いやあ、それは気が遠くなるような話ですね…。

直すという仕事は私たち「建設業」の仕事ですが、肝心の「どう復元すればいいのか」がわからないんです。それが、縁あって名高い造園家である中根金作先生に出会って、指導を受けたからこそ解決できたんです。

当然ながら費用は相当かかりますよね？

もちろん、修復には莫大な費用がかかって、直すのに12年も必要でした。でも、復元したあとの維持にもつと費用がかかっています。

お庭というのは生き物なので、手入れをしなければ1年で取り返しがつかないほどに荒れてしまします。千五百本ある松は剪定だけでなく、感染症などの予防が欠かせません。草刈りはもちろんのこと、お池にたまるヘドロの処理にだって数千万円かかります。さらに、園内や美術館で定期的に開催されている展覧会や各種イベントも、社員が企画して運営し続けています。入園料収入を少しでも確保するためです。

文化的な価値を守るには手入れを続けるしかないんです。開



(※2)専属庭師の「お庭さん」は、もはや中津万象園の一部として重要な存在。「お庭さん」最古参の田口彰良さんは四半世紀にわたって従事。

園してから40年で16億円ですから、毎年4千万円くらい、自己負担しつづけている計算ですね。

今だってお金だけの話なら、お庭を売却すればいいんです。ホテルを併設する案や、世界的オークションからの提案とか、今までも色んな話がありました。でも、中讃地域、京極家の文化資産として私たちが引き継いだこの大名庭園は、このままの状態を保つてくれる人にしか譲れません。

お庭さん(※2)も、長年かけて中津万象園の全てを知り尽くしたプロです。中津万象園への愛があるからこそ欠かせない存在です。中津万象園とお庭さんは一体の地元財産だと思っています。

この庭は慣例として20年ごとに持ち主が変わってきました。

丸亀だけでなく、多度津や神戸の有力な方々も所有したんです。でもこのなかで誰ひとりとして開発したり、切り売りしたりせずに守ってくれました。それを私たち富士建設が引き継いでから来年で開園40周年の節目をむかえるんです。

す！いお話で言葉もありません。開園40周年に向けての動きとかはあるんですか？

丸亀市からは長年にわたってさまざまなご協力をいただいています。年間五百万円の補助金をつけていただいています。

40年の節目に当たっては、お預かりして復元させていただいたお庭をお返しし、丸亀市による公設公営（公が所有して、公が運営する）となることを働きかけています。

私やマルチタスク者の方たちが何かできることはありませんか？

じつは中津万象園の支援の会として、賛助会があります。個人の方でも参加でき、2名まで入館料無料などささやかなお礼もありますのでぜひご入会ください。大変貴重なお話、ありがとうございました。

### 復元に12年、管理を続け40年 中讃・京極家の文化資産を守ってきた

